

行政視察等報告書

令和元年11月12日

長浜市議会議長 西邑 定幸様

会派名 清流
議員名 柴田光男



議員調査活動にかかる次の会派研修等の結果について報告します。

記

1. 研修等名 会派 清流 議員研修
2. 研修期間 令和元年10月21日（月曜日）～23日（水曜日）
3. 研修場所 ①北海道札幌市家庭医療センター
②北海道札幌市がんセンター
③北海道夕張市
④北海道河西郡芽室町
4. 研修目的 ① 「放射線治療でできること」について
② 「家庭医療学」について
③ 「夕張市映画による町おこし」について
④ 「コンビニ、小さな拠点づくり」について
⑤ 「芽室町議会の取り組み」について

【 視 察 目 的 】

医療については「地域医療の在り方」は長浜市の浅井診療所でお世話になっています北

北海道札幌家庭医療センターと、「がん治療の現状」については同僚議員の藤井登議員のお知り合いのがん専門得医の先生による研修をさせていただきました。今日における地域医療については医師不足や看護師不足などの問題を抱え、又地域包括支援の在り方などを、学ぶべく訪問しました。

2日目は地元の活性化に取り組まれている夕張市と、芽室町の地域づくり・全国でも先進的な議会改組をされている芽室町議会の取り組みについて研修いたしました。

【 研修内容 】

① 「放射線治療でできること」については がん切除の治療法もありますが、「放射線治療で多くのがんを治せます」との信念で多くの患者と向き合っておられ、成果を上げられておられる 西尾 正道 北海道がんセンター名誉院長の講義を受けました。

放射線治療は治療の精度が急速にアップし、放射線を集中させることで体への負担が少なく、がんの遺伝子を切断し、免疫細胞も がん攻撃しやすくなる。人に優しい治療で、最先端の技術で がんの部分だけを集中的に攻撃し治療することです。施設内においては数多くの最先端の医療機器が配置され運営されていました。

多くの がん患者の治療として 大変有効であるとおもいます。

② 「家庭医療学」については長浜市の浅井診療所でご活躍頂いています「北海道家庭医療学センター」の地域医療の方針等の研修を受けました。当センターでは地域医療の在り方として、自治体診療所と業務提携（公設民営）され、医師の教育環境を整え専門医研修3年で着実な知識や技術を取得され、個々の患者との関係を重視され、総合診療医・家庭医として地域医療に向き合っておられます。

教育方略として、外来・訪問診療での指導。地域活動として院外で公立中学校への性感染症教育。学生・研修医教育などです。

家庭医療の実践では地域包括支援をされ、より地域に密着した医療を目指し、個人の問題（家庭）まで踏み込んだ支援をされておられます。

③「夕張市映画による町おこし」については、炭鉱の町夕張の街並みを活かし、映画のロケ地として誘致され観光地化している、その代表的なものが「しあわせの黄色いハンカチ」は有名で、多くの観光客が訪れていた。地域資源を活かされた事例です。

④芽室町は人口560名 150世帯の町で、「コンビニ小さな拠点づくり」については、JA店舗の撤廃に伴う地域運営の小売店舗再開の取り組みについてです。

JA芽室上美生店が閉鎖され、地域住民の店存続の要望で平成27年農水省、農村集落活性化支援事業が採択され再開の運びとなった。再開に向けて「住民アンケート」の実施で住民意識調査から始まり、用地・建物についてはJAからの借用でなく買い取り、地域の現状と店の運営について住民との意見交換会Cを実施し、店の活用等まとめられた。

平成30年特定非営利活動法人「上美生店」設立。地域住民から10名の理事と監事2名を置き、地域の生活の基盤と、地域住民のコミュニティの場所としてスタートした。

住民主体となって運営され、小売店舗の運営を核としながら、様々な地域課題と向き合い、その解決に向け取り組む活動の場として運営されておられます。

⑤「芽室町議会の取り組みについて」は議会改革で全国的にも先進的な取り組みがされておられます。

「分かりやすい議会」として 活性化計画で活動計画の明確化・評価制度によるPDCAサイクル

- ・ 「開かれた議会」としてインターネット中継・録画・全会議録ホームページで公開・議会モニター制度（町民20人任期1年）で町民の要望や提言、その他の意見を広く聴取し議会の改革・活性化の推進及び政策提案機能の強化等です。
- ・ 「行動する議会」として 通年議会制の導入・議員研修の実施・議会サポート制度（8人の地方自治研究者などの知見を活用）・政策サイクルの運用（町民の声を政策に繋げる。）など全国に先駆けて取り組まれていた。

・【 所 管 】

多くのがん患者の方がおられる現状、長浜市内の病院での治療手段として、放射線治療の効果等調査研究され、治療の手法として活かされればと考えます。それには高額な最先端医療機器の導入も必要となりますが、生命を守ることを考えると大変重要です。

家庭医療については長浜市の取り組みの一つでもある、地域包括支援の充実を図る意味においても、北海道家庭医療センターのように、地域医療に志を持たれているおられる医師の確保で地域に根差した医療環境を整える事だと思います。そのためには長浜市での更なる受け入れ支援の充実がもとめられます。

夕張市の地域の活性化の取り組みについては、地域の特色を活用され観光誘客に成功されておられます。長浜市は黒壁を中心とした観光誘致で多くの観光客で賑わいをとっていますが、長浜市は自然環境豊かで歴史遺産も数多くあり、まだまだ活用しきれていないと感じます。長浜市全体の観光の一体化・観光ルートアクセスの整備等で、そこに各地域の特産品等の販売を絡めた経済効果を生み出す観光施策が求められます。

「コンビニ小さな拠点づくり」の成功、は地域住民の結束と、それを実現するための行政支援がありました。長浜市においてもスパ一等のない地域もあり移動販売カーにより生活支援がされています。住民主体の運営を市の遊休資産の活用やコミュニティセンターの一部活用などでの日用品販売ができればと考えます。他市においては旧学校を活用されコミュニティセンターとして活用され、その一部に日用品の販売もされておられました。

芽室町議会「議会改革」については全国トップレベルで学ぶことも多くありました。長浜市議会もそれに追いつくべく現在取り組み中で、議員の資質の向上と・市民に分か

りやすく・市民の要望に応えられる議会をつくらなければならないと思っています。